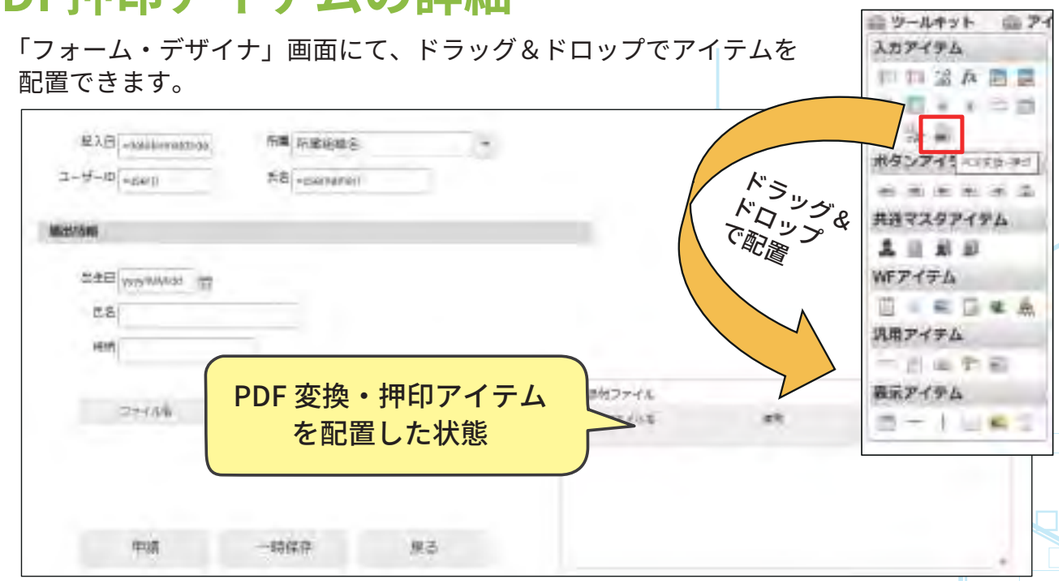
PDF押印エレメント / PDF押印アイテムの違い

PDF 押印アイテムと PDF 押印エレメントは、押印する画面等は同じです。画面開発を支援するツールが異なります。

	PDF押印アイテム	PDF押印エレメント
必要な環境と特徴	IM-FormaDesigner のアイテムとして利用可能	IM-BloomMaker のエレメントとして利用可能
開発について	IM-FormaDesigner と連携してノーコードで電子印鑑機能の開発が可能	PDF 押印エレメント部分はローコードで電子印鑑機能の開発が可能 IM-BloomMaker の性質上、別途開発は入る前提
IM-FormaDesigner と IM-BloomMaker の特性（PDF 押印アイテム / エレメントの説明ではありません）	IM-FormaDesigner はデータベース関連は自動生成されます。また IM-Workflow との連携も容易です。 但し、複雑なシステム開発や連携は苦手です。	IM-BloomMaker は自由度が高くカスタマイズ性が高いです。但し、データベース関連や IM-Workflow 連携のコーディング等が必要となり、ローコード開発ツールの位置づけです。

PDF押印アイテムの詳細

「フォーム・デザイナ」画面にて、ドラッグ＆ドロップでアイテムを配置できます。



IM-FormaDesigner 連携でノーコードで電子印鑑機能が提供できるのが PDF 押印アイテムのメリットです。

■ お問い合わせ
yss 株式会社 ワイ・エス・エス
〒210-0007
神奈川県川崎市川崎区駅前本町 3-1 NMF 川崎東口ビル 8 F
TEL：044-211-9332 FAX：044-211-9331
E-mail ：eigyo@iothe.co.jp URL ：https://www.iothe.co.jp/

※本広告に記載されている会社名・商品名・ロゴ・アイコン等は、各社様の商標及び登録商標である場合があります。

導入事例

SSC 西華産業株式會社

導入効果

導入効果

・PDF押印エレメントを活用して、紙の印鑑押印作業をペーパーレス化

・intra-mart/IM-BloomMakerとの連携で、電子印鑑画面のローコード開発を実現

使用製品情報

PDF 押印エレメント
IM-PDFCoordinator

ご利用ユーザ情報

会社名 ： 西華産業株式会社

本社所在地 ： 〒100-0005
東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

従業員数 ： 単体 311名／連結 993名
（2022年9月30日現在）

資本金 ： 67億28百万円

事業内容 ： 各種プラント、機械装置・機器類、環境保全設備、
電子情報システム機器類の
販売および輸出入

西華産業様の課題

- 紙の作業が残っており、ペーパーレス化が進まない。
- 電子帳票の登録と電子印鑑押印の効率が悪くペーパーレス化が進まない。
- 社内ワークフローシステム開発を進めたいが、開発工数はできるだけ抑えたい。

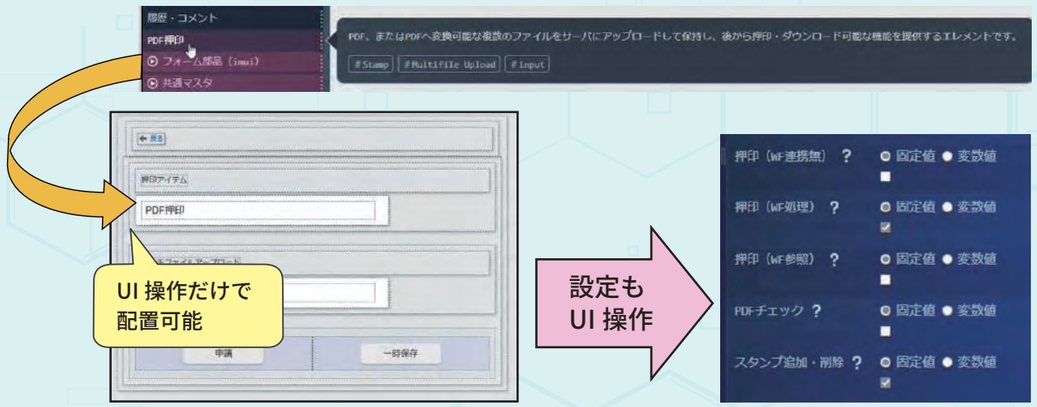
解決

- PDF 押印エレメントの採用で、紙への押印に近いイメージでの電子印鑑を付与。
  ペーパーレス化を実現しました。
  柔軟な画面設計により事務効率化を実現しました。
- intra-mart Accel-Platform + IM-BloomMaker を使用して、システム開発工数の大幅削減を実現しました。

PDF 押印エレメントの詳細

◆ 簡易な操作で電子印鑑を付与できます。

◆ IM-BloomMaker のエレメントとして提供しており、PDF 押印の部分は UI 操作だけで作成できます。ローコード開発で PDF 押印機能を実現します。



◆ 印鑑はシステム管理者が作成 / ユーザが作成を選択できます。

デート印（三段印）
画像の印鑑などを簡単な操作で作成可能

or

システム管理者は印鑑作成の一括管理も可能

◆ IM-PDFDesigner FullPack 連携で承認履歴一覧出力＋セキュリティ付与

◆ IM-PDFAutoConverter 連携で PDF 自動変換

※Linux 環境やクラウド環境の場合は使用できません。

◆ PC だけでなく、スマートフォンでの押印も可能です。

intra-mart Accel-Platform とは

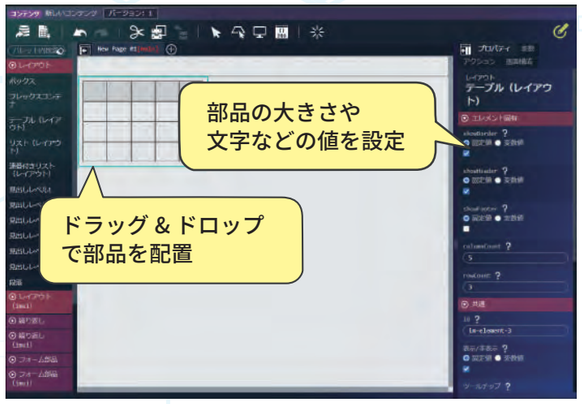
ワークフローを入口に様々な機能でデジタル化・自動化に貢献

多様化する働き方ニーズも柔軟かつスピーディに対応していく為には、業務プロセス全体を可視化し、継続的に改善することが必要不可欠です。
「intra-mart」のワークフロー /BPM で構築した業務プロセスで、ローコード開発したアプリケーションを実行できます。AI、OCR、RPA、電子署名などのデジタル技術の連携部品と組み合わせることで業務プロセスのデジタル化とフルオートメーション化をサポートします。また、業務プロセスのパフォーマンスを可視化するツールなどを使い、業務改善のPDCA サイクルを確立することができます。

更には、自動化・可視化した業務プロセスから発見した業務改善ポイントを素早く修正して、業務効率化・コスト最適化を実現します。

IM-BloomMaker とは

ローコードでの画面開発が可能となっており、プログラミングに関する知識が少ない開発者でも開発が可能になるツールです。

入力フォームやレイアウト設定をはじめとした豊富なコンポーネントがあり、コンポーネントをドラッグ & ドロップで配置するだけで、様々な業務に合わせたアプリケーション画面を誰でも、素早く、簡単に作成できます。

Web ブラウザ上で開発が可能なため特定のアプリケーションを OS にインストールする必要がなく、開発環境に依存せずに開発できます。